

各 位

平成14年度 建築作品賞 技術賞 コンペ・プロポーザル賞について
～三菱地所設計ブランドの構築の一環として表彰～

株式会社三菱地所設計では、三菱地所(株)設計監理事業部門当時の平成10年より、技術力・デザイン力の向上を図るための社内表彰制度として「建築作品賞 技術賞」、さらに平成12年より「コンペ・プロポーザル賞」を設け、毎年社内審査・表彰を実施してまいりましたが、この度、分社・営業開始後2周年を記念し、三菱地所設計ブランドの構築の一環として、表彰式を6月2日(月)、丸ビル・コンファレンススクエアにおいて実施しました。

1. 受賞作品・選定理由

○ 建築作品賞

特別賞「丸の内ビルディング」

丸ビル本体・周辺業務・技術開発案件一体となった完成度の高さ、卓越した技術力・デザイン力を評価。

優秀賞

「ADK松竹スクエア」ディテールまで細かく目の届いたファサード構築を高く評価。

「東京ツインパークス」超高層マンションに関する当社技術の集大成、評価を定着させた意義を評価。

「靖國神社遊就館新館」歴史的意義の深い既存建物の改修と新館デザインの調和を評価。

奨励賞「新百合ヶ丘パークハウスヒルズテラス」

地道な努力で良質でコストパフォーマンスの良い住宅を提供した努力を評価。

○ 技術賞

優秀賞「名古屋熱供給(株)の運転支援システムとコミッショニング技術」

当社技術を集約し「空調衛生工学会・技術振興賞」受賞により対外的訴求したことを評価。

奨励賞

「ADK松竹スクエアBEMSオープン化システム導入事例」

理想的設備構築のための「オープン化システム」提案を評価。

「OAフロア選定における独自の評価基準の考案と実践」

過去の破損事例をふまえた当社独自の方法による選定試験を評価。

○ コンペ・プロポーザル賞 「NHK新山口放送会館」

NHK放送会館という公共性の高い施設での当選を高く評価。

奨励賞「一連のPFIプロポーザルでの当選」

新領域であるPFIのプロポーザルにおいて多数当選を果たした努力を評価。

2. 各賞の趣旨

「建築作品賞」

建築として総合的に作品を評価。

「技術賞」

都市計画、意匠設計、構造設計、電気設備、空気調和・衛生設備、土木設計等計画設計技術を評価。

「コンペ・プロポーザル賞」

社外コンペ・プロポーザルに当選したもののなかで、特に社名を社会的に高めたものを評価。

建築作品賞、技術賞については、優れたものを「優秀賞」、非常に優れたものを

「最優秀賞」とする。

3. 審査過程

平成14年度の対象作品は、同年1月～12月竣工物件であり、15年1月末の応募締切時で建築作品賞19作品・技術賞17件の応募があった。これに対して審査委員会(委員長:清水副社長[当時]委員:担当役員・部長計9名 事務局:技術情報部)にて予備選考、本審査を実施し、4月7日に決定した。

以上